

近い将来やってくる 津市の公共施設問題

問題 1

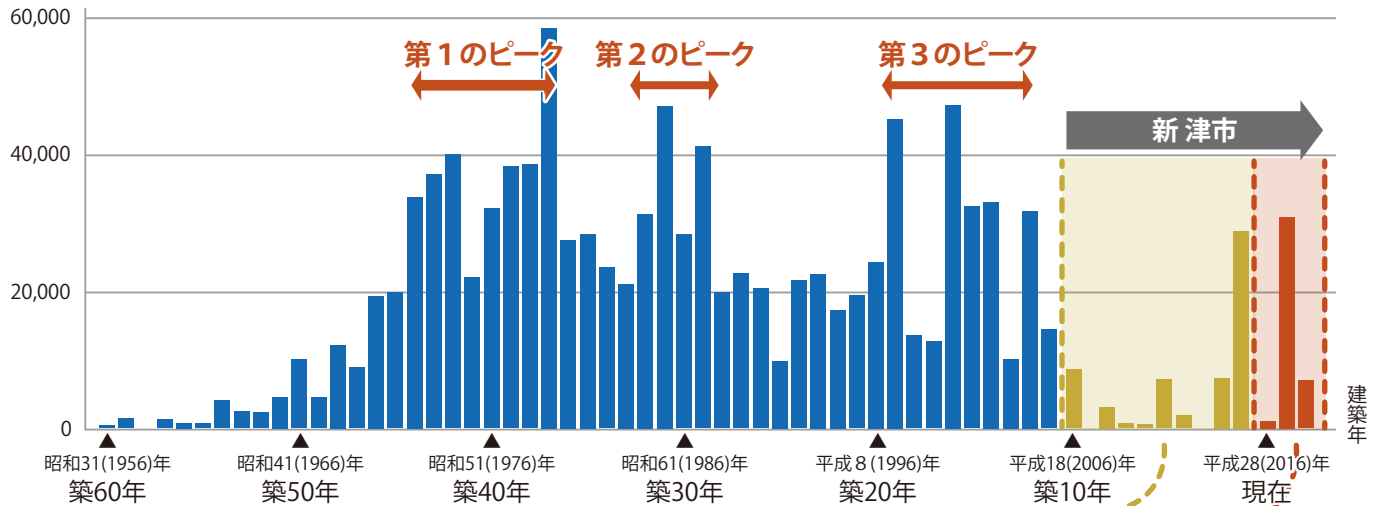
多くの施設が老朽化し、施設数はさらに増加しています

経済成長や人口増加といった時代背景のもと、これまで津市には3度の施設整備のピークがありました。その時に建てられた施設が今、一斉に老

朽化しています。そして、耐震化や老朽化対応を進める一方で、地域の要望に応えるため、近年も新しい施設を整備し続けています。

津市の年度別公共施設(建物系)の整備状況

延床面積(m²)



整備・改修完了

学校(耐震化)、総合支所(改修・建て替え)、新斎場、新最終処分場、リサイクルセンター、美杉総合文化センター、道の駅津かわげ



美杉総合文化センター

新斎場 いつくしみの杜

道の駅津かわげ

整備継続中

学校(大規模改修、エアコン)、こども園、応急クリニック、産業・スポーツセンター、久居ホール、体育館(改修)、津北工事事務所、消防署



応急クリニック

産業・スポーツセンター

久居ホール

さらに増加

問題 2

施設を利用する人が減少しています

時代の変化や人口減少などに伴い、多くの施設が未利用・低利用となっています。例えば、市内には約600席の文化ホールが3館ありますが、一部を除き、利用率は約3割と低迷しています。

また、児童数の減少に伴い、教育児童施設の閉校・閉園・休園が発生しています。

文化ホールの利用状況(平成27年)

お城ホール(津リージョンプラザ)	78%
しらさぎホール(白山総合文化センター)	31%
ハーモニーホール(サンヒルズ安濃)	31%

閉校、閉園、休園の状況(平成10~28年)

小学校	5校
保育園・幼稚園	15園



サンヒルズ安濃 ハーモニーホール

